

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願

昭和大学病院（附属東病院を含む）では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

がん治療目的で入院した患者における抗不安薬の処方に及ぼす影響因子の探索に関する単施設後ろ向き調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2018年1月～2020年1月までに、がんの治療目的で当院（附属東病院を含む）に入院した患者さん

2. 研究目的・方法

本研究では、当院にがんの治療を目的として入院された患者さんにおける使用薬剤について診療録を用いた調査を行います。患者さんの中には、がんと診断され、その後気持ちがつらくなり、安定剤を飲み始める方も多くいらっしゃいます。一方で、同様に診断されても安定剤を飲まない患者さんも一定の割合でおられます。

本研究では、がんの診断後に安定剤の服用を始める患者さんの特徴を明らかにするとともに、多くのがんの患者さんが安定剤などを飲まなくても安心して手術および治療のための入院に臨めるようにするための情報を構築します。

本研究では、研究を目的として患者さんの診療録を閲覧させていただき、情報をまとめるため、患者さんへの新たなご負担はございません。

研究期間

医学研究科人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから
2022年3月30日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から得られる情報（年齢、性別、体重、入院時における薬の数、種類、各種検査結果、診療録へ記載されている内容、退院時の状況等）

4. 外部への試料・情報の提供

本研究では、個人情報の収集は行わない。診療録の情報は、医療情報部より入手または診療録を閲覧し、エクセルへ転記することで入手する。入手した情報に基づき、個人識別符号として患者IDと研究用番号の対応表を作成する。対応表の紙媒体は薬剤部地下2Fの鍵のかかるロッカーへ保管する。対応表の電子媒体はパスワードロックした上で薬剤部保管のHDDへ保管する。

要配慮個人情報として病歴を利用する。病歴は患者背景の作成を目的に利用する。これらの情報は、本研究以外には利用しない。対応表は第三者組織とは共有せず当院薬剤部において保管・管理を行う。研究対象者のプライバシーを完全に守るため、研究責任者及び研究分担者は、解析結果の発表や出版に際しては、個人が特定できない状態で公表する。対応表に基づいて個人情報と切り離された情報はデータの解析などを目的として院外へ持ち出すこともある。

本研究の実施に係わる試料及び情報等（文書及び電子記録等）を、本研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は本研究の結果の最終の公表について報告された日から5年を経過した日のいずれか遅い日までの期間、適切に保管する。

5. 研究組織

研究責任者	所属	職名	氏名
	薬学部病院薬剤学講座（大学病院） 統括薬剤部	准教授	百 賢二
分担研究者	所属	職名	氏名
	大学病院薬剤部	助教	星 茜
	薬学部/統括薬剤部	教授/部長	佐々木忠徳
個人情報管理責任者	所属	職名	氏名
	大学病院薬剤部	助教	鈴木 康介

6. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：附属病院薬剤部 氏名：百 賢二（もも けんじ）

住所：品川区旗の台 1-5-8 昭和大学病院 電話番号：03-3784-8467（平日 8:30～17:00）

研究責任者：百 賢二（もも けんじ）

研究代表者：

薬学部病院薬剤学講座（大学病院）統括薬剤部 准教授 百 賢二